

1. 本園の教育目標

- ・あいさつや返事がきちんとと言える子に
- ・きまりややくそくが守れる子に
- ・おもいやりの心と人に親切にできる子に
- ・感じ感動する豊かな心の子に
- ・自分で考え実現できる子に

2. 本年度の重点目標

新型コロナウイルス感染症による感染流行下において、園児・保護者・教職員の健康を守り、尚且つ園児の成長発達を獲得するための最善の保育を実現する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取り組み状況
感染予防対策	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都及び三鷹市の指導を遵守する</li> <li>・原則、マスク着用とする</li> <li>・登園の際は検温カードを提出する</li> <li>・手指消毒、衝立使用等感染対策の徹底</li> <li>・机、椅子、ドアノブ、玩具等の消毒の徹底</li> </ul>
保育の計画性	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の教育方針、教育目標、年間目標に基づき教育課程を編成し、年度始めに職員会議にて共通理解を行う</li> </ul>
保育のあり方・ 子どもへの対応	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議を週に1回行い、主任会議、学年会議を適宜行い、教育計画を実践す</li> <li>・一人ひとりの発達、特性を職員会議で報告、情報共有し、全教員が共通理解の上、子どもの実態に合わせた保育、援助</li> <li>・芝生園庭や園庭に整備したビオトープ、ちびっこ農園を活用し、思いきり走り、飛び、更には様々な動植物に触れ心身ともに限りない成長をめざす。</li> </ul>
保護者への対応	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の様子を園だより（週だより、月だより）やHPで定期的に発信する。また担任との連絡帳での対応の他、5月の個人面談や保護者の希望により常時面談や保育を見学する機会を設け関わりを深め</li> </ul>
地域の自然や社会との関わり	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の幼保小連絡会にて連携を行い、小学校就学に向けた情報交換や小学校への参観会を行う。</li> </ul>

評価（A…十分に正課があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

#### 4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	重点目標は概ね実施できた。また定期的な職員会議を行うことで、職員全体で一人ひとりの子どもを育てるという意識が強まり、課題のある子どもに対しては共通理解と協力体制を築き指導をすることができた。感染対策については昨年を引き続き食事時の黙食に努め、また教職員で感染予防の勉強会を開くなど感染防止対策を第一に、可能な範囲で目標とした計画を実施できた。保護者への対応は、保護者のニーズについて情報を収集し更に期待に応えるよう努める。

評価 (A…十分に正課があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

#### 5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
環境	マスクの着用や、人との関わりの経験が減少していることからくる影響が見られるため、どのように補っていくことができるか保育の工夫、環境設定を研究していくことが必要。幼児期ならではの豊かな経験ができる幼稚園生活の再びの実現に、引き続き努めていく。園庭や室内の環境について話し合いや研究し、主体的に遊びこめるよう、また遊びがより充実するように子どもの発達に添った環境構成に取り組む。
特別支援事業への理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害についての学習に努め、理解を深める。三鷹市発達支援センターの巡回相談を要請し 個別の指導を受けず</li> <li>・ 保護者と情報を共有し、連携・協力をしながら全ての子どもにより良い成長につなげる。</li> </ul>

#### 6. 学校関係者評価委員会の評価

本評価は概ね妥当であると認める。園内保育技術研究会や職員会議などを活用し、教職員一丸となって子どもたちの成長や喜びを考えた保育を工夫し、一人ひとりを大切にしながら実践している様子は大変好ましい。引き続き子どもたちが楽しく園生活を送れるよう保育の充実を期待する。